

(千種区 18.18Km²)

統計なごやweb版 <http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/67-5-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

千種区の年齢3区分別人口の概況

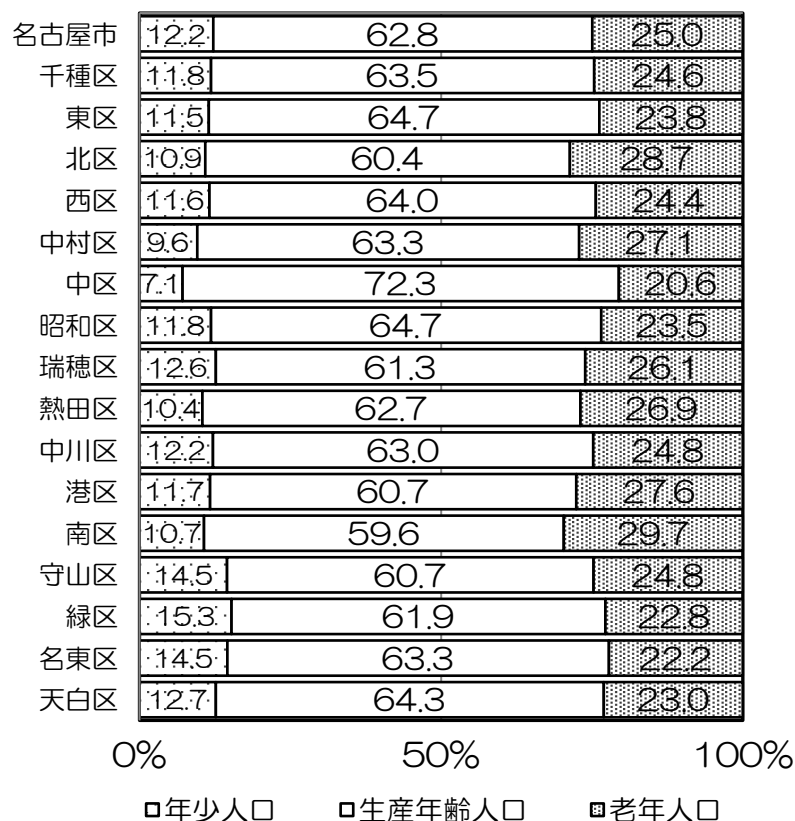


図1：区別年齢3区分別人口比率（令和元年10月1日現在）

今回はまず、千種区の年少人口（15歳未満）、生産年齢人口（15～64歳）および老年人口（65歳以上）の比率について見てみます（図1）。

名古屋市全体および各区の令和元年10月1日現在の年齢3区分別人口比率をみると、年少人口比率は緑区が15.3%と最も高く、千種区は11.8%で16区中7位です。

生産年齢人口比率は中区が72.3%と最も高く、千種区は63.5%で16区中6位です。

老年人口比率は南区が29.7%と最も高く、千種区は24.6%で16区中9位です。

千種区の3区分別人口比率は名古屋市の比率とほぼ同じとなっています。

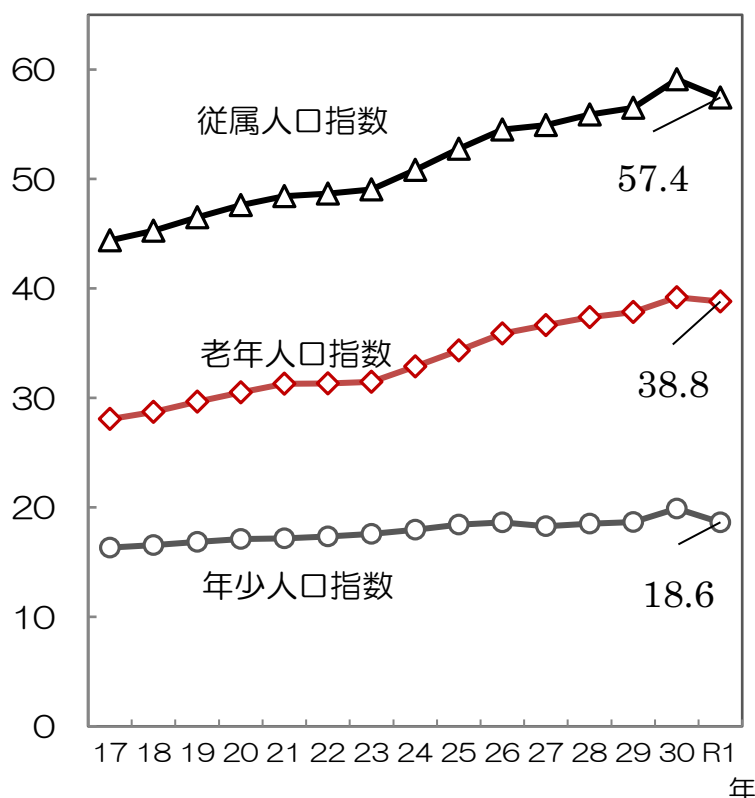


図2：千種区の年齢構成指数の推移（各年10月1日）

次に、千種区の年齢構成指数の推移を見てみます（図2）。年少人口指数および老年人口指数は、生産年齢人口100人が年少者または高齢者を何人支えるかを示すものです。また従属人口指数は、年少人口指数と老年人口指数を合計したものです。

千種区の令和元年の年少人口指数は18.6、老年人口指数は38.8で、上昇傾向が続いていた昨年までとは一転して下降しており、16区中の高い方からそれぞれ8位と9位となっています。また、千種区の令和元年の従属人口指数は名古屋市全体（59.2）及び平成30年の千種区従属人口指数（59.1）を下回り57.4です。これは16区中高い方から11位（平成30年：8位）となっています。